

研究タイトル

前大脳動脈瘤に対する直達手術後の記憶障害に関する脳損傷部位の後ろ向き研究

1. 研究の対象

2016年1月～2025年3月に当院で開頭ネッククリッピング術を受けられた方

2. 研究目的・方法

脳動脈瘤の破裂によるくも膜下出血は、治療後に元の日常生活が可能になる患者さんが約3人に1人というように、治療法が発達した現在でも社会復帰が難しい病気の1つです。特に、前大脳動脈にできる瘤については、まわりに記憶の機能に重要な部位が多く存在することから、術後の記憶障害が問題になります。重い場合には認知症のような症状になってしまいます。我々は、過去に前大脳動脈瘤の開頭手術を受けられた患者さんの手術後のMRI所見から記憶の低下に関連する脳の部位を検証し、治療法の改良点をみつけることが本研究の目的です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、治療歴、記憶などの高次脳機能検査所見、カルテ番号 等

試料: 術後MRI検査

4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

5. 研究組織

国立病院機構南和歌山医療センター脳神経外科

西林宏起（研究責任者）

仲河恒志

伊藤雅矩

石井健次

大江 直

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 4

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立病院機構南和歌山医療センター

和歌山県田辺市たきない町 27 番 1 号

TEL: 0739-26-7050

副院長(脳神経外科) 西林宏起

-----以上